

No.91

会 報

2000 (平成12) 年6月15日 Shizuoka Consulting Engineers Association 静岡県技術士協会

事務局 〒424-0888

(株)建設コンサルタンツセンター内

TEL 0543-45-2155(代)

FAX 0543-44-2105)

会 長：松本 文雄 専務理事：神立 信

編集担当者：松影 泰三 中田 洋輔 望月 圭祐

振込口座：静岡銀行 可美支店 普通預金 0358349 静岡県技術士協会 会計 松尾博孝 (053-441-6374)

http://www.d3.dion.ne.jp/~shizu_ea/

【2000年度・会長挨拶】



静岡県技術士協会会長

松本文雄

この度の2000年度定時総会において、会長に指名されまして、お受けすることにしました松本です。

当協会は技術士の諸先輩が発会されて40年になるうとしています。私も23年前に入会させて頂きましたから、諸兄から数々の薫陶を受けてまいりました。永い間いろいろなご指導を受けた皆様への恩返しという気持ちを込めて、非才な者ですが向こう2年間の会長職をお受けし致しました。

皆様ご存知のように、世の中の技術環境、技術に対する認識また要求も大きく変わってきております。技術の効用以外に負のインパクトについても目を逸らしではならない、高い倫理性が技術者に求められている状況下にもなっております。今年からは技術士制

度そのものの見直しも着手されております。

このような状況を踏まえて、会員の皆様がさらに活動しやすくなるように、この静岡県技術士協会を運営して参りたいと思います。幸い今年度以後の執行に当たられる副会長や理事各位はきわめて知見の深い方ばかりが就かれましたので、詰めの甘い私を埋めて余りある体制で推進が期待できます。

最後に、会員皆様の声を執行部にお寄せいただき、活力のある協会を育てることにご協力をお願いいたしまして、簡単ですがご挨拶と致します。

2000年度定時総会開催

2000年4月21日(金)於:クーポール会館(静岡市)

総会成立が確認され、以下の議案が審議、承認されました。

総会議案書[抄]

第1号議案 1999年度事業報告

1 会員の状況

(1) 会員数

1999年4月現在 201
 (内、個人会員183名、賛助会員18社)
 年度内入会者10名、6社、退会者7名
 2000年4月現在 210
 (内、個人会員186名、賛助会員24社)

(2) 入会者(入会登録順)10名

大森 政義	齋藤 築也	門田 光央
越谷 信行	小林 哲	相澤 林作
土橋 弘	大井 寿彦	齋 強志
湖山 東明		

(3) 退会者(退会順)7名

藤田 欣一	島田 稔	中村 良二
金沢 宏	後藤 義輔	星野 剛輝
山内 信一(物故)		

(4) 休会者(順不同)5名

荒野 吉也	白井 五郎	加納 照彦
本川 英佑	大古田忠雄	

2 総会

日時 1999年4月23日(金) 14:30~

会場 静岡市 クーポール

議案 第1号議案 1998年度事業報告
 第2号議案 1998年度決算報告
 第3号議案 名誉会員推戴の件
 第4号議案 年会費改定の件
 第5号議案 1999年度事業計画案
 第6号議案 1999年度収支予算案
 第7号議案 その他

出席者 121名(内、委任状 74名)

記念講演 『技術士の見栄 - 静岡活性化の原動力 - 』 中本 至 先生

3 例会

(1) 99年度第1回例会

日時 1999年7月16日(金) 13:00~

参加人数 23名

内容 沼津工業技術センター
インキュベーションセンター

(2) 99年度第2回例会

日時 1999年10月22日(金) 14:00~

参加人員 18名

内容 フジ製糖(株)本社(清水)工場

(3) 99年度第3回例会(日本技術士会中部支部 合同主催の研修会)

日時 1999年12月3日(金) 14:00~
参加人数 41名

内容 静岡市 クーポール会館
会員による講演

山下 久吉	会員
富野 章	会員
松本 文雄	会員

(4) 99年度第4回例会

日時 1999年3月10日(金) 14:00~
参加人員 35名

内容 浜松市 クリエイト浜松、研修会
加藤 幸男氏(当協会顧問)
野中 忠夫氏(浜松市都市計画部長)

4 常任理事会

(1) 第1回常任理事会

日時 1999年6月5日(土) 11:30~
会場 清水市(株)建設コンサルタントセン
ター会議室

議題 99年度活動予定について
99年度第1回例会開催について
98年度年会費未納分徴収、及び
99年度年会費未納督促について
その他

(2) 第2回常任理事会

日時 1999年7月16日(金) 11:00~
会場 三島市 田代グリル

議題 静岡県技術士協会インターネット・
ホームページ開設について
研究会活動「安全衛生研究会」につ
いて
その他

(3) 第3回常任理事会

日時 1999年9月4日(土) 11:00~
会場 清水市(株)建設コンサルタント
センター会議室

議題 主な経過報告と99年度第2回例
会開催について
静岡県技術士協会インターネット
ホームページ開設進捗状況について
研究会活動「安全衛生研究会」進捗
状況について
その他

(4) 第4回常任理事会

日時 2000年 3月10日(金) 11:00~
会場 浜松市 夢庵
議題 2000年度総会議案について
その他

(5) 静岡県技術士協会インターネット・ホームページを開設

(6) 1997年度刊会員名簿の追補版を発刊

(7) 定時総会の開催

日時 1999年 4月23日(金)
会場 静岡市 クーポール

5 理事・役員会

日時 1999年 4月7日(水)
場所 静岡市 クーポール
議題 99年度定時総会議案の審議

9 会員の受賞

清水 康夫会員(農業)

勲5等瑞宝章を授賞

松原繁左右会員(農業)

科学技術振興功労賞(県知事賞)を授賞

6 地区ブロック会合

東部地区

日時 2000年 1月21日(金) 18:30~
会場 沼津市 沼津軒
参会者 18名
議題 次期東部役員候補について
次年度東部地区担当の定例会について

中部地区

日時 2000年 3月3日(金) 18:30~
会場 静岡市 味楽天
参会者 13名
議題 次期中部役員候補について
次年度活動案について

西部地区

日時 2000年 1月13日(木) 18:30~
会場 浜松市 サンピア浜松
参会者 14名
議題 次期会長・専務理事・常任理事役員候補について

7 会報の発行

第88号 1999年 6月15日
第89号 1999年 9月15日
第90号 2000年 3月15日

8 事業

- (1) 調査・研究・監査・指導等の業務受託
浜名湖競艇場中央スタンド建替工事の臨時
監査指導 伊藤和美会員に委託
- (2) 地方公共団体や協会、一般企業への当協会の
認識度向上活動
企業、団体の依頼対応は次の通り
日中友好協議会の依頼に対応
静岡県中小企業振興公社の依頼に対応
静岡県下水道設計協会・静岡県建設コンサル
タツ協会主催の技術士受験対策セミナーを
後援
静岡県下水道管路診断コンサルタント協会に
講師派遣
東京海上火災保険㈱の依頼に対応
- (3) 静岡県環境ビジネス協議会へ入会
- (4) 研究会活動「安全衛生研究会」を開始

10 日本技術士会中部支部への協力

定時総会:

5月15日 渡邊会長 石川副会長 出席
名古屋 名古屋市民会館

幹事会:

5月22日 8月22日 10月23日
2月5日 計4回
渡邊会長 石川副会長 出席

総務委員会:

6月15日 8月13日 10月23日
2月5日 計4回
渡邊会長 石川副会長 出席

平成11年度技術士試験合格者説明会及び祝賀会
3月25日 石川副会長 出席

日本技術士会中部支部事務所支援:

8月20日 渡邊会長 出席

愛知県技術士会平成11年度総会:

4月24日 渡邊会長 出席

三重県技術士会平成11年度総会:

5月8日 望月副会長 出席

岐阜県技術士会平成11年度総会:

5月22日 石川副会長 出席

地震対策委員会:

7月28日 11月4日 渡邊会長 出席

その他 : 当協会の活動状況を逐次報告

第2号議案 1999年度決算報告

(1) 一般会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	30,053	30,053		
賛助会費	180,000	240,000		
日本技術士会助成金	167,000	0		
入会金	30,000	20,000		
年会費	1,050,000	1,092,000		
会合費(総会)	276,000	276,000	500,000	546,332
会合費(例会)	600,000	620,000	700,000	693,872
会合費(理事役員会)			150,000	148,841
事業費	450,000	571,410	450,000	571,410
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			200,000	269,540
印刷費			50,000	45,800
通信費			250,000	50,135
雑収入/雑費	76,947	50,059	300,000	343,981
基金特別会計より繰入	10,000	0		
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
次年度繰越			50,000	9,611
計	2,870,000	2,899,522	2,870,000	2,899,522

(2) 基金特別会計の部

項 目	科 目	予 算	決 算
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,000
	本年度増減	0	471
	合 計	2,000,000	2,000,471
利息の部	収入	10,000	471
	一般会計へ繰入	10,000	0
	残 高	20,000	471

(3) 40周年記念事業基金会計の部

科 目	収 入		支 出	
	予 算	決 算	予 算	決 算
前年度繰越	300,073	300,334	0	0
一般会計からの繰入	100,000	100,000	0	0
合 計	400,073	400,334	0	0

会計監査報告

会計幹事

松尾 博孝

寺田 洋子

第3号議案 名誉会員推戴の件

新名誉会員5名(技術士部門順)

磯部 俊夫 芦沢 五一

守屋猪三郎

伊藤 寿洋

高柳 剛

名誉会員(技術士部門順)

加藤 幸男 高塚 明経

鷲山 秀彦

金沢 徹

金子 真一

中川 滉

久米松太郎 高野 克巳

鶴田 三男

水谷 一夫

山田 康一

絹村 薫

二俣 数夫 松原繁左右

竹花 健

第4号議案 規約改正の件

当協会規約について、以下の項を改正する。

規 則	現 在	改 正 案
規約 第8条	会員は次の事由により退会する。 (1) 書面により退会を申し出たとき (2) 死亡したとき 2. 会員が引き続き2年度にわたって会費を納めないときは、理事会の承認を得て退会したものとみなすことができる。	(1) (2)の項に以下の3.を追加する。 3. 休会して5年を越えるまで連絡の無いときは、理事会の承認を得て退会したものとみなすことができる。
第10条	本会に次の役員を置く。 (4) 常任理事 3名	(4) 常任理事 4名
第18条	(4) 例会は原則として隔月に開催する。	(4) 例会は原則として年4回開催する。
第25条	会報の発行は原則として隔月とする。	会報の発行は原則として季刊とする。
細則 第5条	本会の年会費は次の通りとする。 正会員・準会員 6,000円	正会員・準会員 8,000円
細則 第7条	本会会長は日本技術士会中部支部中部東分科会会長を兼務し、中部支部幹事を兼任する。	本会会長は日本技術士会中部支部における幹事を兼任する。
	日本技術士会中部支部中部東分科会規約	日本技術士会中部支部活動における細則

規約、細則には「改正 平成12年4月21日」を追加する。

第5号議案 役員改選の件

次期2000年・2001年度役員を次の通り推薦し、承認を求める。(順序不同 敬称略)

会 長	松本文雄			
副会長	守屋 文二	木村 芳正		
専務理事	神立 信			
常任理事(会計担当)	松尾 博孝			
同(会報担当)	松影 泰三	中田 洋輔		
	望月 圭祐			
監事	小川 誠慈	森 稔夫		
理事(順不同)				
[東部]	安間 莊	漆畑 八三	久保嶋勝巳	
	櫻 賢三	山本 正男	鷺山 裕厚	
	稲葉 弘之			
[中部]	石川 正人	海野 泰一	金澤 啓悟	
	児玉 史章	佐藤 仁一	高尾 和宏	
	藤田 協右	柳澤 敏行	山之上 誠	
	吉澤 淳			
[西部]	伊藤 寿洋	梅原弘二郎	斎藤 和夫	
	長嶋 滋孔	藤原 正臣		
顧問	乾 昇	伊藤 和美	加藤 幸男	
	金澤 徹	清水 康夫	竹花 健	
	蓮池 昇	吉永 勝也	渡邊佐一郎	
	渡邊 三義			

第6号議案 2000年度事業計画案

2000年度事業は、従来の活動を基に、この時代変化に沿った充実したものにし、社会への貢献に積極的に働きかけてゆきたい。

1 組織の拡充

- (1) 県内未加入者へ積極的な加入促進
県内の未加入者の名簿作成と、当協会の紹介勧誘を行う。
- (2) 組織内の相互啓発教育の活性化
環境、エネルギーや労働安全などのテーマごとのグループ活動を立案推進する。
- (3) 組織内活動の報酬や実施の検討
大きいインセンティブは無理でも、活動の経費等を支援する。

2 静岡県技術士協会の認知度の高揚

- (1) 魅力的な会報の作成と、各団体と企業に選択配布をして、業務受託の相談に乗る。
- (2) 技術士の担当分野の今日的課題やハイライトの整理を広報する。
- (3) 各団体との交歓、交流を推進。
- (4) 公的支援制度の調査と会員の参加促進。

3 実施事業(行事)

- (1) 2000年度総会の開催
日 時 2000年4月21日(金)14:30~
会 場 静岡市 クーポール
議 案 1999年度事業報告および2000年度事業計画案
その他
記念講演 常葉短期大学 山田辰美 先生
- (2) 例会の開催
(見学会・会員相互の講演による研修会)
7月 東部(東部担当)
10月 中部(中部担当)
12月 静岡(研修会・忘年会)
3月 西部(西部担当)
- (3) その他の活動
外部団体からの業務委託を受け、会員に委託する。
テーマ別、グループ活動組織の拡充
日本技術士会、及び中部支部との連携を進める。
協会の規約整理と会員への周知徹底を図る。
会員のFAX、E-mail 網を整理し、連絡の迅速化をする。

4 役員会

常任理事会、理事・役員会、および地区役員会を随時開催する。
第1回理事・役員会
日 時: 2000年4月3日(月)15:00~
会 場: 静岡市 クーポール
議 題: 2000年度定時総会議案の審議
その他

5 会報の発行

年4回(6月、9月、12月、3月)会員各分野の技術ハイライトなどの紹介および分野外も含めた会員の投稿を促す。

6 その他

第7号議案 2000年度収支予算案

(1) 一般会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前年度繰越	30,053	9,611		
賛助会費	240,000	240,000		
日本技術士会助成金	0	50,000		
入会金	20,000	50,000		
年会費	1,092,000	1,424,000		
会合費(総会)	276,000	350,000	546,332	500,000
会合費(例会)	620,000	756,000	693,872	700,000
会合費(理事役員会)			148,841	150,000
事業費	571,410	500,000	571,410	500,000
事務所運営費			120,000	120,000
会報発行費			269,540	300,000
印刷費			45,800	100,000
通信費			50,135	50,000
雑収入/雑費	50,059	50,000	343,981	500,000
基金特別会計より繰入	0	0		
40周年記念事業基金繰入			100,000	100,000
会員名簿作成積立金			0	300,000
次年度繰越			9,611	109,611
計	2,899,522	3,429,611	2,899,522	3,429,611

(2) 基金特別会計の部

項 目	科 目	前年度決算	予 算
基金の部	前年度繰越	2,000,000	2,000,471
	本年度増減	471	471
	合 計	2,000,471	2,000,942
利息の部	収入	471	471
	一般会計へ繰入	0	0
	残 高	471	471

(3) 40周年記念事業基金会計の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前年度繰越	300,334	400,334	0	0
一般会計からの繰入	100,000	100,000	0	0
合 計	400,334	500,334	0	0

(4) 会員名簿作成積立金の部

科 目	収 入		支 出	
	前年度決算	予 算	前年度決算	予 算
前年度繰越	300,334	400,334	0	0
一般会計からの繰入	100,000	100,000	0	0
合 計	400,334	500,334	0	0

第8号議案 そ の 他

2000年度静岡県技術士協会定時総会記念講演要約

自然復元と環境創造への道

富士常葉大学 助教授 山田辰美 先生



私は「生物屋(せいぶつや)」、人によっては「なまもの屋」とも言われまして、堅いものを余り扱わないのです。最近では最も軟らかいもの、人間の心というようなものまで守備範囲に置かないと行けない時代になってきました。今日は技術士会ということで、世の中の構造を変えていくような立派な皆さま

の方ですので、そのあたりの関係を持たせながら開発などを視野に入れて異分野の考え方をご披露したいと思います。

元々人間は自然の中で暮らして如何に自然を越えるか、例えば暮らし一つとってみてもそうですが、寒暖の差が激しい厳しい自然界の中から如何にぬくぬくとした快適な環境を作り出すかということが関心事の中にあつたように思います。そういう方向とは逆に自然を作り直そうという言い方があります。マスコミではよく地球環境にやさしいという言い方をしますが、地球にやさしいとはどういうことかと思ってしまうます。

学生に地球の歴史をわからせるためにトイレトペーパーでよくたとえます。ロール紙の長さを仮に45メートルだとすると、地球の年表を書くのに1メートルが1億年ということで意外にわかりやすいのです。そうすると生き物の歴史はどのあたりから始まるのでしょうか。

生命の発生は6メートル足らずの所から始まります。恐竜が滅んだのが6500万年前と言いますから、トイレトペーパーの長さで言うと65センチ、1回の用が足せないくらいの長さです。この恐竜が滅んで我々哺乳類の時代になったのですが、人類の時代は高々10センチ位です。そして地球環境にインパクトを与え始めたのはトイレトペーパーの繊維たらずしかないという我々が地球にやさしいとい

う立派なことが言えるのでしょうか。思い上がるのも程々にと言いたいけれど、確かに人類の影響は大きい。ただ、地球が危ないのではなく、人類が危ないだけです。人類が滅んだ後に地球の温暖化などは元のバランスを保つでしょうから、地球はびくともしないと思うのです。

そういう中で地球とか自然に寄り添った形で新しい技術の体系が考えられないかという動きがあります。これは大変魅力のある発想なので皆さんにも考えていただけるといいなと思います。

私は具体的に自然環境復元ということで、ピオトープを作ろうという運動をやっています。ピオトープというのは、生き物のいる場所の一つの単位を言います。例えば、鉄道の線路敷きに石が置いてあるのもピオトープです。何故これがピオトープかというと、この石の間に特有のコオロギがいる。こういう環境でしか育めない生き物がいるのです。だから、これも一つのピオトープとしてしっかり認識されているのです。まばらな果樹園もピオトープです。水辺や小川などは勿論大切なピオトープとしてカウントされています。

ピオトープを作る時に大事なことは三つのバランスです。第一に大事なことは理念です。新しい時代の新しい技術として理念がキチッと内部になればいけない。ピオトープの理念は自然を身近に引き寄せて、自然と親和的に暮らしていこうというものです。

ところが、残念なことに実際に作られたピオトープを見るとどれも同じで、ピオトープとは池があって、草が植えてあってというような矮小化したとらえ方になっています。日本ではピオトープという運動をやるとどこも同じ金太郎飴になってしまうのです。

建設省が、もう5年くらい経つでしょうか、補助金事業として多自然型川作りというのを日本中で展開しています。県の職員と勉強会をやって、県内の多自然型川作りを見て歩きました。そしたら自然を守っているようなものは一つもなかった。多い自然ではなくて、他人の他の自然ではないかと言ったら、皆苦笑していました。立派な庭園風の護岸になっていて草は植えられ、芝生が貼られていました。対岸は何もしていないので草ボーボーです。でもそちらの方が虫ははるかにいるし、蛇もそちらにいるのです。

多自然と言った時に何を守るべきかという目標が無しで、技術者が自分の技術のメニューの中から、自然的とはコンクリートよりは石だろう、ブロックよりは芝生だろうということで決めたのでは、自然にはなりません。自然を志向しているのはよくわかるのですが、そこに暮らす生き物にとっては迷惑なしるものです。

コンクリートでもいいんです。コンクリートの形とか形状が問題なのです。ドイツのライン川ではコンクリートが丸裸で出ている所は一箇所も無い。要所要所には裏打ちとして使っている。これは隠し護岸という考え方で、強い洪水などではコンクリート

がブロックしてくれるけれど、生き物を養うためにはその表面には土をかぶせておく。コンクリートは見る側の感性にスカッとした印象を与えるから隠れていて貰うように使うのは大いに結構です。

二番目は技術が遅れていることです。多自然型川作りに必要なコンクリート二次製品としてろくなものがない。使い方の工夫もない。例えば、ドイツでは椰子殻のロールを作り、杭を打って止めて水辺を作った。非常に便利です。10年、20年するとそこに生える草の根っこで見事に置き換わって椰子殻は消えています。そこに生えた草達、木達が水際線を保っています。実にソフトな素材で魅力があります。日本はそれをやたらに使った。しかし、日本の川はそんな椰子殻ロール程度で抑えが出来るものではないのです。日本の川は濁水時と増水時の幅が大きい。5倍、10倍ではない、1千倍を超える水量の変化があるので、ソフトな素材では太刀打ちできる筈がない。だからそれだけを万能薬として使うわけには行きません。技術者たる者は知っていなければまずいですね。

三番目はコーディネイトする力です。これが一番足りないのです。多自然型川作りなどを見ると、あれとこれを組み合わせたらどうかというような、細やかなソフトな力が本当に物足りないのです。川は水が流れるという単純な原理に基づいて、様々な多様な淵や瀬という変化を見せるのです。道路などとは全然違う世界なのに、最後の検査が道路と同じようにやられるそうです。

ある川で、多自然型川作りで勾配を揃えていた。多自然型だから多少起伏があってもよいのに、きちんと1cmと違わないように重機をあてながらきれいに揃えている。そこは水が当たる水床部だから1回の雨でメチャメチャになる所なのにそうしないと検査は通らない。チグハグしている。コーディネーターが工事現場にも社会にも足りないのではないかと思います。

これが今日お話ししたいことの全てです。

この後も講演は続きました。欧米でヒットしている日本発のアニメ「もののけ姫」のテーマは自然と共生しながら新しい文明を目指すこと。沼津千本松原で海側の堤防が切れて風がバンバン当たるところの松が健康であること。コンクリートの護岸工事で川と森や緑との連続性を断ち切ったために、かじか蛙や亀がいなくなってしまったこと。等々を例にして自然との親和的な暮らしを支える技術の重要性を説かれました。非常に興味深い講演だったと思います。(文責：編集子)

会員の消息

敬称は省略させていただきます。

新規入会

氏名
生年月日
技術部門（登録番号）
最終学歴
勤務先



國方 優（くにかた まさる）
■■■■ ■■■■ ■■■■
機械部門（42719）
■■■■ ■■■■
（株）日立空調システム



岩ヶ谷昌敏（いわがやまさとし）
■■■■ ■■■■ ■■■■
環境部門（8217）
■■■■ ■■■■
静岡ガス（株）



井口 忠雄（いぐち ただお）
■■■■ ■■■■ ■■■■
建設部門（41494）
■■■■ ■■■■
（株）フジヤマ

行事予定

2000年度第1回例会

日時：2000年7月中旬

場所：沼津工業団地内事務局及び団地内企業

内容：新ビジネス創出のための交流会

会費納入のお願い

2000年度の会費納入がお済みでない会員の皆様、
お早めに納入下さるようお願いいたします。

年会費 8,000円です

振込先

静岡銀行 可美支店 普通 0358349

【静岡県技術士協会 会計 松尾博孝】

編集後記

会報 No.91 をお届けいたします。今年は2年に1回の役員改選の年にあたるので、特に総会関係の記事が多く、紙面がいっぱいになりました。この影響で前回の例会（クリエート浜松における研修会）の記事掲載が次号に遅れます。ご了承下さい。

静岡県術士協会内部連絡先のご案内

2000年、2001年度の役員は西部が担当することになりましたが、事務局は中部所在（清水市）の（株）建設コンサルタントセンターのご厚意により、従来通り同社内とさせていただきますことになりました。協会内部の連絡は下記の役員（会長、副会長、専務、常任理事）にして下さると便利です。

役名	氏名	事務所名	電話	FAX	E-Mail
会長	松本文雄	松籟技術士事務所	053-473-0536	053-473-0536	Fumio-m@pop21.odn.ne.jp
副会長	木村芳正	（株）建設コンサルタント	0543-45-2155	0543-48-2585	Kencon_3@po3.across.or.jp
副会長	守谷文治	守谷技術士事務所	054-281-4078	054-281-4078	
専務理事	神立 信	神立技術士事務所	053-436-3496	053-438-8170	Kandatsu@pop16.odn.ne.jp
常任理事	松尾博孝	松尾技術士事務所	053-441-6374	053-441-6374	Matsu-hirogi@nifty.com
常任理事	松影泰三	松影技術士事務所	053-434-5980	053-434-5980	Taizo@mug.biglobe.ne.jp
常任理事	中田洋輔	（株）中部総合コンサルタント	053-454-3685	053-454-3685	Yobo@mvi.biglobe.ne.jp
常任理事	望月圭祐	（有）望月技術士事務所	053-454-7883	053-454-7883	km68@lilac.ocn.ne.jp